

葵区中山間地域
『定住・移住・交流促進』大作戦
意見書

(葵区政策研究グループ)

1 「定住・移住・交流」促進の背景とねらい

中山間地域の集落は、住民の皆さんの生活の場であることはもちろんですが、地域に伝わる伝統や文化を維持していくとともに、農地や森林の保全を通じて、自然環境を守り、水源を涵養し、下流域の土砂災害を防止するなど、多面的な公益的機能を担っています。

しかしながら、本市の中山間地域の集落は、全部で94地区(葵区:76地区)ありますが、そのうち、葵区の17地区が、「限界集落」となっている状況です。

また、本市の中山間地域全体で、平成5年に38,218人であった人口が、平成20年には、32,676人に減少しております。

特に、限界集落の17地区の合計は、平成5年の1,786人が、平成20年には1,114人に減少しております。

一方、日本の総人口は、平成16年の1億2,780万人をピークに減少に転じたと言われている中、現在、「団塊の世代」と呼ばれる昭和22年から24年までに生まれた世代が、大量退職の時期を迎えており、厚生労働省の推計によるとその数は約800万人であると言われております。

すなわち、約800万人と言われる団塊の世代が、第2の人生のスタートを切ろうとしている状況です。

また、平成20年5月に国土交通省国土計画局が公表した「二地域居住等に関する調査」によると、現時点での普及率は4.4%・197万世帯(このうち、二地域居住が109万世帯、移住・定住が88万世帯)となっているが、10年後には、13%に拡大し、二地域居住が335万世帯、移住・定住が210万世帯となり、市場規模も約1.5兆円が、10年後には6.5兆円に拡大するものと予測されています。

中山間地域の活性化を目指していくためには、産業の活性化や雇用の創出、文化の創造など、様々な取り組みが必要ですが、中でも、定住人口の増加が何よりも必要であり、市内外から中山間地域の集落への移住・交流を促進していくことが重要です。

そのため、移住・交流を促進する仕組みづくりや、選ばれる集落となるための魅力づくり、受け皿づくりを進めるための事業の実施が、今こそ必要となります。

2 「定住・移住・交流」促進への支援

中山間地域への定住・移住・交流を促進していくためには、これらがビジネスとして成立する仕組みや、田舎暮らしを計画している多くの国民の皆さんに、本市の中山間地域を選んでもらえるような仕組みを創ることが重要です。

(1) 移住・交流ビジネス振興協議会の設立

中山間地域への移住・交流を促進するためには、移住・交流者への支援がビジネスとして成立することが重要です。

行政のみが移住・交流促進策を推進しても、一時的な効果が得られるだけで、持続的な取り組みには繋がっていきません。

行政は、民間事業者が持つノウハウを活用して、本市の中山間地域において、移住・交流ビジネス市場の開拓に取り組んでいくことが重要です。

そこで、早急に、農業協同組合、森林組合、旅行業・観光業、住宅業・不動産業などの皆さんと「移住・交流ビジネス振興協議会」を設立し、移住・交流ビジネスの調査や振興のための協議を開始していくことを提案します。

【事業概要】 所管局...経済局

・移住・交流ビジネス振興協議会の運営(毎年)	1,000千円
・移住・交流ビジネス振興基本調査の実施(1回)	5,000千円
・移住・交流ビジネス振興事業の実施(H22~)	民間

(2) 中山間地域移住促進奨励金交付制度の創設

中山間地域が持つ公益的機能が多くの市民の皆さんに理解される中、その保全のために、中山間地域への移住を経済的側面から奨励する制度が必要不可欠の課題となっています。

特に、家族で、田舎暮らしを計画している皆さんを、本市の中山間地域へ誘導するためには、住宅建設や既設住宅の改修等への支援が効果的です。

そこで、本市の中山間地域へ移住しようとする皆さんへ、地域の消防団活動や町内会活動等のコミュニティ活動への積極的な参加を条件に、住宅建設等に対する移住促進奨励交付金を交付する制度の創設を提案します。

【事業概要】 所管局...経済局、生活文化局

・中山間地域移住促進奨励交付金の交付(毎年)	
3,000千円(上限) × 5件	15,000千円

(3) 定住・移住・交流促進ポータルサイトの開設

中山間地域への定住・移住・交流を促進するためには、本市の中山間地域が持つ魅力や、本市が進める促進策について、広く情報発信していく必要があります。

特に、国民の各界各層に幅広く浸透させていくためには、四季折々の自然景観やイベント情報、生活情報、移住促進のための空き家情報、自然体験や農業体験・林業体験等のエコツーリズムやグリーンツーリズム情報など、本市の中山間地域の魅力を総合的かつ機動的な情報発信が重要となります。

そこで、定住・移住・交流促進のためのポータルサイトを開設し、全国に向けた情報発信を開始していくことを提案します。

また、その際には、例えば「南アルプス山麓での田舎暮らし」「都会で田舎暮らし」といったキャッチコピーの検討も提案します。

【事業概要】 所管局...経営企画局、生活文化局

・定住・移住・交流促進ポータルサイトの開設(1回)	3,000千円
・ポータルサイトの維持管理(毎年)	500千円
・キャッチコピーの検討(公募)	1,000千円

3 「定住・移住・交流」促進への魅力の発信

中山間地域への定住・移住・交流を促進していくためには、本市の中山間地域の素晴らしさを多くの国民に理解してもらうための取り組みが重要です。

(1) 南アルプス文学賞の創設

本市の中山間地域の魅力を発信していくためには、この地域を舞台とした物語を創作し、それらをテレビや出版などのメディアを活用して売り出していくことが効果的です。

そこで、本市の中山間地域の魅力の象徴である南アルプスを冠した文学賞を創設し、3年に1回、全国から作品を公募することを提案します。

なお、作品の著作権は本市が取得し、テレビ局や出版社への積極的な働きかけを行い、収入を得ることが重要です。

【事業概要】 所管局...環境局、生活文化局

・南アルプス文学賞賞金(3年毎)	10,000千円
・南アルプス文学賞の啓発、選考(3年毎)	5,000千円
・出版・テレビ放映	民間

これらの経費の財源は、著作権収入で賄います。

(2) 住みたくなる魅力の発信

本市の中山間地域への定住を促進していくためには、中山間地域の魅力はもとより、静岡市全体の魅力の発信が重要であり、静岡市が選ばれる都市となるためのシティーセールスの推進が必要となります。

そして、中山間地域の魅力発信についても、定住促進の観点から、住みやすさ、暮らしやすさに力点を置いたキメ細かな対応が必要となります。

また、全国の集落の中から、選ばれる集落となるため各集落の特色を、具体的にアピールすることも重要です。

そこで、シティーセールスの推進に際しては、本市の中山間地域の集落に住みたくなる魅力を発信することを提案します。

【事業概要】 所管局...経済局

・「いかざあ梅ヶ島」「きっせい藁科」キャンペーンの実施(毎年)	10,000千円
・首都圏交流体験ツアーの実施(毎年)	5,000千円

(3) 市議会議員・市職員等の率先行動

本市の中山間地域の魅力を発信していくためには、様々な施策の推進が必要となりますが、何よりもまず、本市の市議会議員や市職員等が、中山間地域の魅力を理解することが重要となります。

そこで、各分野の施策の立案や推進の際に、中山間地域の特色を加味した施策の検討を行うとともに、中山間地域への配慮や、特別な取り扱いの必要性を十分考慮するため、極力、現地視察等を実施するなど、中山間地域の実情把握に努めるよう提案します。

また、市議会や市役所、外郭団体等の親睦旅行等の実施の際は、本市中山間地域での実施等も考慮し、率先して中山間地域の活性化に貢献するよう努めていくことを提案します。

【事業概要】	所管局...総務局	
・市議会議員・市職員の現地視察等の実施		千円
・各職場の親睦旅行等の実施		自 費

4 「定住・移住・交流」促進の受け皿づくり

中山間地域への定住・移住・交流を促進していくためには、その受け皿となる集落が、多くの国民から選ばれるよう、各集落の基盤整備や格差解消に努めていくことが重要です。

(1) がんばる集落応援プログラム

中山間地域の集落への定住・移住・交流促進のためには、各集落の実情に合わせた基盤整備や魅力づくりが必要となります。

各集落には、それぞれの歴史があり、それぞれの課題や目指す集落の姿にも違いがあります。

そこで、集落の特色を活かし、活性化や移住の促進に向けた事業を実施しようとする集落に対しては、「がんばる集落応援プログラム」を創設して支援を行うよう提案します。

【事業概要】 所管局...経済局

・がんばる集落応援プログラムの実施(毎年)

50,000千円(上限) × 2集落 100,000千円

(2) ハンディキャップ解消メニューの整備

中山間地域の集落への移住促進のためには、生活、医療、福祉、教育などの様々な面での、市街地との格差の解消が必要です。

この格差は、自然的・社会的条件に起因するものであり、物理的に解消が困難なものがありますが、行政サービスの面で特段の配慮を行うことにより、全体として、中山間地域と市街地との格差を埋めていくことが可能となるものと考えます。

そこで、行政サービスの中から、法令等に反しない範囲で「ハンディキャップ解消メニュー」を整備し、本市の中山間地域に定住することのメリットを提案します。

【事業概要】 所管局...教育委員会、保健福祉子ども局ほか

・ハンディキャップ解消メニューの整備(毎年)

例) 給食費の無料化、子供医療費の無料化、市街地への通勤・通学費の助成、市街地での無料駐車場の整備、子育て支援手当の支給、消防分団運営費の増額支援、清流保全手当の支給 等

む す び に

世界自然遺産にも匹敵する顕著で普遍的な価値を有する南アルプスに連なる本市の中山間地域は、「物質的豊かさ」より「心の豊かさ」を重視する国民意識の変化の中で、無限の可能性を秘めた地域へと大きく変貌しつつあります。

しかし、このような時代の変化を的確に受け止め、本市の中山間地域の活性化に直接繋げていくためには、効果的で実行性の高い政策を総合的に推進していくことが、必要不可欠の課題であります。

中でも、人口減少が著しい各集落への定住人口増加策の推進が、喫緊の課題として位置付けられるに至っております。

我々は、このような状況の中、定住人口の増加のためには、中山間地域の各集落への移住・交流促進策が必要であるとの認識のもと、今回、「葵区中山間地域『定住・移住・交流促進』大作戦」を取りまとめました。

今回の提案は、予算化がすぐにでも可能なソフト事業を中心に、定住・移住・交流促進にポイントを絞って策定したところであり、平成21年度予算からの実施が大いに期待されるところであります。

また、中山間地域の活性化に向けて、長期的には水道料金の上乗せ等による財源の確保の課題や、農林業や観光の振興による産業基盤の確立が必要であり、これらを持続的に取り組んでいくための「(仮称)中山間地域振興事業課」の創設が求められるところであり、当局の積極的な対応を大いに期待するとともに強く要望するところであります。

今回の提案により、老若男女を問わず、多くの人々の笑顔があふれる中山間地域へと変貌していくことを祈念しつつ、皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。